

第 9 回 社会保障WG 東京大学 古井祐司

1 予防・健康づくりの社会システム化

“国民の健康寿命の延伸”を実現するためには、無関心層を含む集団全体への網掛けが不可欠

そこで、国民皆保険制度下に科学的なアプローチ「データヘルス計画」を導入することが有用

(1) インフラの整備；データヘルス計画の効果的な推進 [資料 1]

保険者機能が発揮される要件整理とその適用が不可欠

Structure；規模,人員,保健事業費(検証を含む) 適正な規模化(**健保組合**が課題)

Process；健康課題に応じた保健事業メニュー導入 データヘルスでパターン化(**国保**が課題)

Output/Outcome；特定健診実施率/健康維持率 データヘルスの見える化で実施・検証

* 保険者インセンティブ (国保保険者努力支援制度等の要件)

第 1 段階 Process(健康課題に応じた保健事業メニューに補助)；効果をあげる目的

第 2 段階 + Output/Outcome；保険者格差を縮小する目的

(2) 仕組みの構築；日常の生活動線上での健康づくりの推進

地域；**まちの活性化**の視点

- 住民の動線上のあらゆるステークホルダの参画を促す仕組み；都道府県庁・政令市 [資料 2]

職場；**生産性の向上,人材確保**のための環境整備の視点

- 高齢化ワークライフバランスに伴う売上増 [資料 3]，環境改善による生産性の向上 [資料 4]

- 子育て・介護を含めた社会の生産性を向上

家庭；生活の気づきの視点

- 生活習慣(寝酒)と健康状況(睡眠の質)との“見える化”

(3) 医療資源の活用；薬局,健診機関の活用

薬局；電子処方箋の導入および進化の視点

- 未治療/未服薬(ドロップアウト)を防ぐ；重症疾患発症の 3 分の 2 を占めている

- 非コントロールを防ぐ；服薬者からの発症率が 3.5 倍高く、6 割以上は受診勧奨域

いつでもどこでも/モニタリングに基づく見守り

健診機関；健診を起点として健康行動を促す視点

- 健康行動,継続受診の促進

- セルフメディケーションの促進(AI 活用)

(4) 人生の最終段階に向けて

自然史のパターン化の視点

- 健康状況・検査値(特定健診)/疾病・コスト(医療レセプト)/要介護・コスト(介護レセプト)

- 個人・数十年 < 集団・5 年程度

2 健康の産業化

- 当該市場はニーズが顕在化していないことが最大の特徴

(1) 運営者と開発者とのマッチング

運営者の視点でのツール・素材の活用がポイント

利用者のニーズが顕在化していないため、**運営者によるツール・素材の活用**がポイント

運営者視点でのツール・素材の検証が不可欠（対象、タイミング、導入準備等）

* 「予防・健康づくりライブラリー」【資料 5(非公開)】

(2) 日本ブランドの構築

少子高齢社会の構造をストックではなく、フローで捉える【資料 6】

介入すべき対象、タイミングがつかめる

- 介入に活用するツール・素材(商品)の開発が可能に
- 潜在需要を顕在化する仕組みの構築が可能に

健康寿命を延伸するノウハウは日本の財産であり、かつ “日本ブランド”となる

最新事例【資料 7】

少子高齢社会の構造；改善者よりも悪化者が多い

- 悪化時点では太っていないので無自覚
- ただし、内臓脂肪は上昇傾向

“意識づけ” with 内臓脂肪計測器

・プレメタボ + 若年層/女性/アジア人種等

・感度が高く、非侵襲性のため日常モニタリングにも適する

* 特定健診制度第 4 期も見据えるが、制度前段階での活用、世界適用を視野に

日本で適用され、日本が経験している仕組みとツールが世界のソリューションになり得る

- 潜在需要を顕在化する仕組みが必要 -

運営者視点でのツール・素材の検証(医療保険者；データヘルス計画との連携)

目利き/検証が可能な産官学の共同体の設置・運営

以上

資料 データヘルス・ポータルサイト

高齢者医療制度円滑運営事業費補助金 厚生労働省「予防・健康づくりインセンティブ推進事業」

**医療保険者が取組む
「データヘルス計画」の
運営をバックアップ！**

よくあるご質問 お問合せ


データヘルス計画推進ポータルサイト

概要 [データヘルス計画作成／評価および見直しツール](#)
[データヘルス大学](#)
[データヘルスライブラリー](#)

データヘルス計画のPDCAを円滑に進め、事業効果を高める

ヘルスケア・ポータルサイトは、平成27年度より全国的に開始された保険者のデータヘルスのPDCAの取組を支援するとともに、データヘルス計画の推進に役立つ様々な情報の一元化をはかり、データヘルスの推進に関わる全てのステークホルダーにわかりやすく情報提供することを目的として構築されたポータルサイトです。
厚生労働省による「予防・健康づくりインセンティブ推進事業」の一環として、国立大学法人東京大学が運営しています。



データヘルス計画作成／評価および見直しツール

データヘルス計画のPDCAサイクルを円滑に回すためのツールです。
データヘルス計画作成や運用に関わる保険者の方々はここから専用ページへのログインを行います。
[詳細はこちら](#)





データヘルス大学

データヘルス計画の運営を担う方々の教育・研修を支援します。
[詳細はこちら](#)



データヘルスライブラリー

データヘルス計画の運営に関する事例、素材、情報を提供します。
[詳細はこちら](#)

お知らせ

2016.04.01 カテゴリー サイトオープンしました。

出典) 2016.3.22 東京大学 データヘルス計画推進シンポジウム

- 政府・骨太方針に基づく社会保障KPIとデータヘルス計画の運営を支援するポータルサイト -

Point
1

健康課題の明確化で目指す方向が確認できます。

- 健康課題のうち、皆さんが「優先する課題」を選択します。これにより、自組合は何を目指し、どのような保健事業に重点を置いて実施するかが明確になります。
- 健康課題や対策の方向性それぞれについて「カテゴリ」を選択することで、その後の事業設計や事業評価をしやすくなります。

対策の方向性のカテゴリ化

The screenshot displays a web application interface for health issue management. It features a table with columns for '健康課題' (Health Issues) and '対策の方向性' (Direction of Measures). A dropdown menu is open, showing a list of categories for health issues, including '健康課題の基礎' (Basic Health Issues) and '個別の事業' (Individual Activities). A red box highlights the '優先する課題' (Priority Issues) section, which includes a 'ナビ' (Navigation) button and a 'チェック' (Check) button. A blue box highlights the '対策の方向性' (Direction of Measures) section, which includes a list of categories for measures, such as '職場環境の整備' (Improvement of Work Environment) and '加入者への意識づけ' (Raising Awareness among Members).

健康課題のカテゴリ化

優先する課題の選択

Point
2

健康課題とそれぞれの事業との“つながり”を意識しながら
保健事業の設計が進められます。

- ・「健康課題との関連」を選択することで、課題を意識して事業の設計が進められます。
- ・目標に評価指標「アウトプット/アウトカム」を数値で登録することで、取組の達成度を定量的に確認でき、事業評価がしやすくなります。

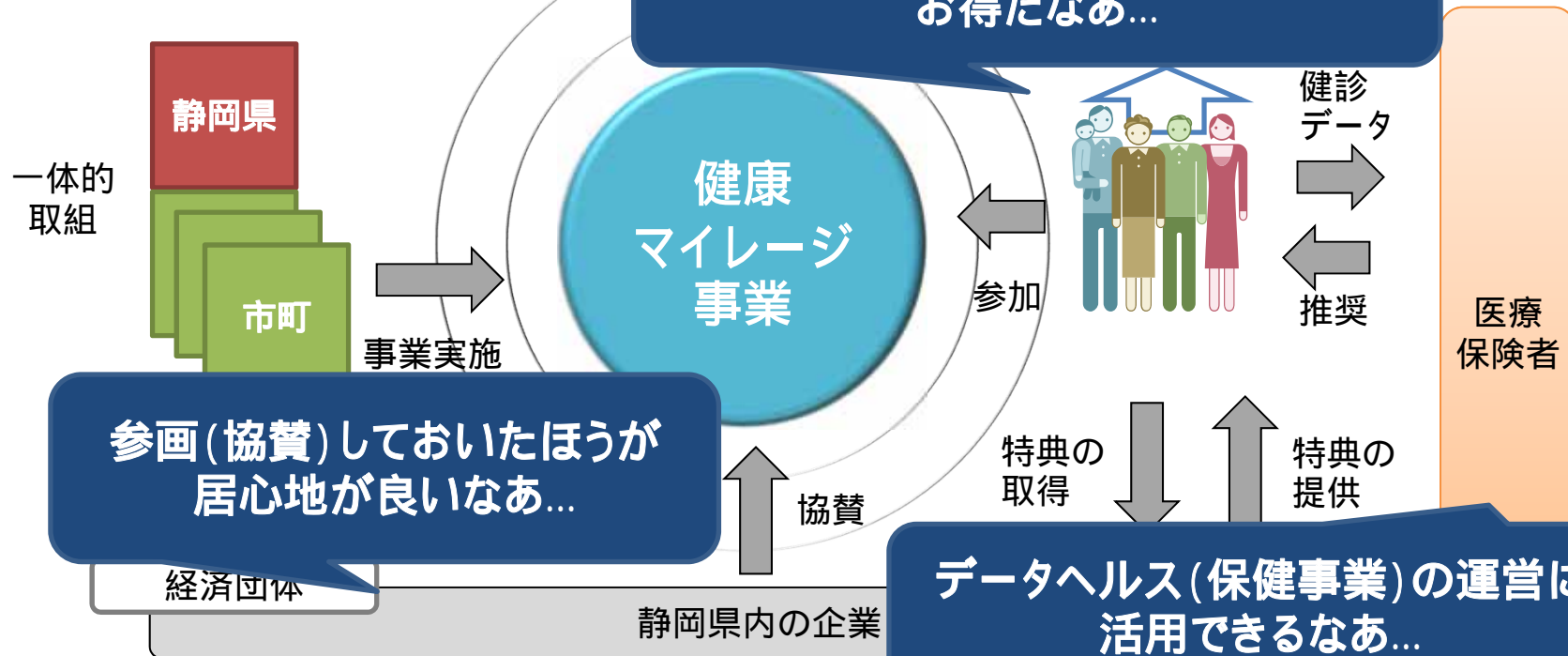
今後、保険者の皆さんの上記取組が進むことで、各健康課題に対して有効な対策の探索、健康課題が類似した保険者相互のノウハウ共有が可能になります。

健康課題と事業との
関連づけ

健康課題に対応した
保健事業メニューのパターン化

資料 日常の生活動線上での健康づくりの推進 - 健康マイレージによる“まちづくり” (静岡県)

- 健康マイレージ事業は、住民の日常生活や企業の事業活動の場に寄り添いながら健康づくりを進める仕掛け。
 - 日常活動の場や就労の場が健康づくりの場となり、日常生活を送ることで自然と健康づくりができる。
 - 地域の企業や保険者の力を活用する。
- 参加者が増えるにしたがって、市町・企業・保



住民 : 日常生活を送る中で、特典が獲得できる上に、自然と健康づくりに向かう。

企業 : 健康マイレージに協賛することで、地域の活性化に貢献でき自社イメージも向上する。
(今後はさらに、保険者との協働に基づき自社内の健康づくりの普及も期待される)

自治体 : 県民に寄り添ってくれる企業等のステークホルダーを通じて、県民1人ひとりの健康づくりに関与する。

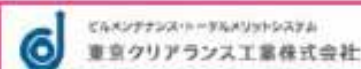
保険者 : 加入者の健康づくり、受診行動などへの働きかけに貢献する。

会社の元気は従業員の健康から!



従業員が出勤していれば安心でしょうか？
日々の疲れや体調不良などでパフォーマンスが低下しているかもしれません。
従業員の健康に配慮することは、
会社にとってどんな効果があるのでしょうか？

事例 東京クリアランス工業株式会社



- ワークライフバランスの徹底!
- 地域産業保健センターの利用!

取組のきっかけと取組内容

- 4年前、夜勤明けの従業員が現場でケガをしたことから、勤務時間の見直しに着手
- 従業員と話し合い、夜間業務を外部委託
勤務時間(9時~17時)を徹底

社員の変化等

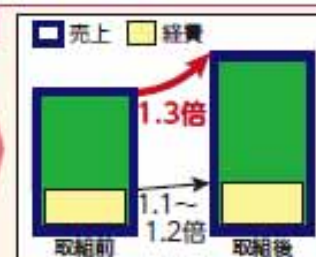
- 勤務にメリハリができ、余裕のある丁寧な仕事が可能に。
- 顧客の信頼度が上昇、新たな仕事の依頼が増加
- 従業員の意欲の向上

外部機関の活用とその効果

- 地域産業保健センターの産業医による健康相談・指導を実施
- 健診・検診の重要性に気づく従業員の増加

経費と売上の変化

外部委託による
経費の負担を
上回る
売上の増加!



代表取締役社長からの一言

従業員のケガ等による経営者としての精神的不安は計り知れません。あんな思いは二度とたくありません。
勤務体制・健康管理の一環として進めた取組ですが、業績アップにもつながり嬉しい驚きです。

企業データ 所在地：武蔵野市
従業員数：33名（男性27名/女性6名）
平均年齢：60歳（平成27年8月現在）
事業内容：総合ビル管理、マンション管理、空調・衛生・給排水、
消防設備、警備業・機械整備、建築関係

資料 日常の生活動線上での健康づくりの推進
- 環境改善による生産性の向上 (美容室・アクア)

昼食を交代で必ずとる、
毎朝の朝礼で健康ネタを。
自販機メニューもガラッと変わった。
社員が率先して朝夕のストレッチ！

皆20代、痩せているのに高血糖！
受診したこともない...

ほぼすべての従業員の血糖値が平均まで改善。
体調不良で欠勤するスタッフが減り、ローテーションが安定。
健康に関する知識が増えたことで、かかりつけを持ち、
顧客とのコミュニケーションの幅も広がりました。

第2-2-20図 人材が確保できている企業とできていない企業の特徴



労働時間, 職場環境は重要
> 賃金, 知名度

やりがいは
もちろんだが...

資料：中小企業庁委託「中小企業・小規模事業者の人材確保と育成に関する調査」
 (注) 1. 人材を「確保できている」企業は、「十分に確保できている」、「十分に確保できていない」の3段階で回答した企業の割合 (%) - 「十分に確保できている」の割合 (%)
 2. 人材採用に関する特徴とは、「強み」と回答した企業の割合 (%) - 「強み」の割合 (%)
 3. 差分とは、「確保できている企業の特徴」-「確保できていない企業の特徴」の差 (%)

出典) 中小企業庁・ホームページ

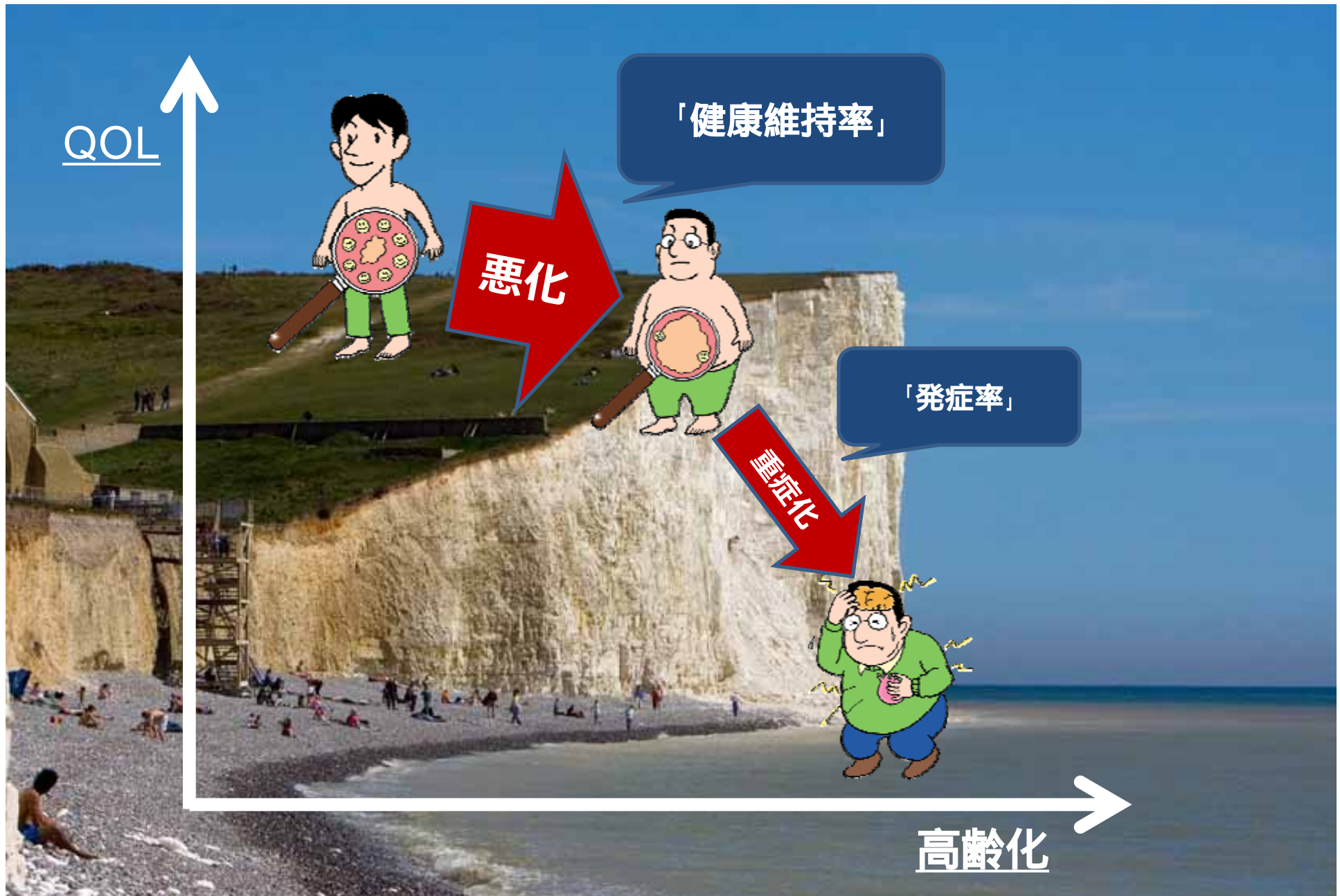


座談会 **健康経営を始めよう**

安藤久佳 × 三村明夫 × 古井祐司

第一章 健康経営を始めよう

資料 少子高齢社会の構造をフローで捉える (商品開発、ニーズを顕在化する仕組みが構築できる)



資料 少子高齢社会の構造化から生まれる“健康ソリューション”



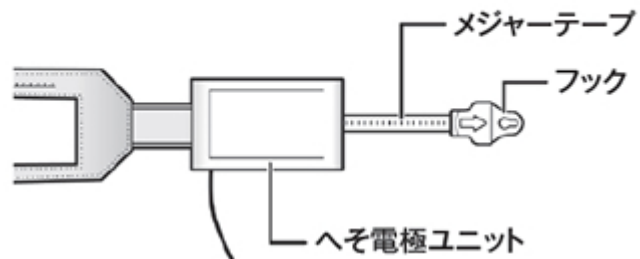
集団の構造に対応した“意識づけ” with ツール

= **健康ソリューション**

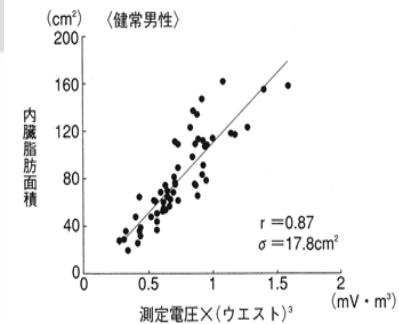
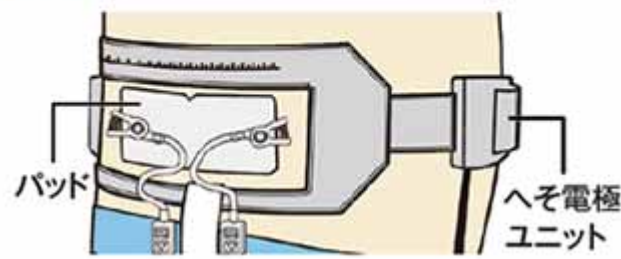


対象, タイミング等をつかむことで
真のソリューションになります。

1 腹囲測定



2 内臓脂肪面積の推定値の算出



出典) パナソニック・ホームページ等